

報道発表資料

平成18年8月10日

沖縄総合事務局

「道の駅 喜名番所」を登録

平成18年8月10日に国土交通省において「道の駅」第22回登録が行われ、県内から読谷村と沖縄総合事務局が一体型で整備を行った、「道の駅 喜名番所」が新たに登録されました。

「道の駅」は平成5年の第1回登録から平成17年8月の第21回登録までに全国で830駅が登録されています。沖縄県内においては、平成6年の第5回に登録された「許田」を第一号に、平成11年の第15回登録で「おおぎみ」と「ゆいゆい国頭」が、平成15年の第19回登録で「かでな」の4駅が登録されており、「喜名番所」は県内で5番目の「道の駅」となります。

問い合わせ先

沖縄総合事務局 開発建設部 道路管理課

課長 上原 勇賢 課長補佐 恩河 稔

TEL: 098 - 861 4911

FAX: 098 860 - 6575

道の駅：喜名番所 概要

担当地整名：内閣府沖縄総合事務局

路線名：一般国道58号

交通量：24,621 台 / 24h (平日) 23,358 台 / 24h (休日)

所在地名：中頭郡読谷村字喜名1番地2

単独・一体の別：一体

道路管理者：沖縄総合事務局長

管理主体：読谷村

施設箇所の特色：「喜名番所」は、その昔、琉球王朝時代の公道であった宿道として首里城と国頭を結ぶ接点に位置し、交通の要所である番所(駅)として利用され、人々の往来、文化の交流が盛んな宿場として賑わった場所であり、いわば道の駅としての機能を有していた。1853年にはこの地に訪れたペリー提督一行の画家ハイネが、番所の絵を描き残していることでも有名である。
また周辺には、世界遺産に登録された座喜味城跡や喜名古窯跡、郷土色豊かなヤチムンの里や読谷山花織工房なども近く、歴史と文化に豊かな地域としても知られ、休憩機能を兼ね備えた総合的な観光情報を提供する施設です。

施設全体面積：4,857 m² (内道路管理者 3,743 m²)

施設内容：

駐車場 39 台 (内 39 台24時間利用可能)
全体 39 台(大型車 2 台、小型車 35 台、身障者 2 台)換算 41 台
内道路管理者 39 台(大型車 2 台、小型車 35 台、身障者 2 台)換算 41 台

トイレ 16 器 (内 8 器24時間利用可能)
全体 16 器(男(大) 4 器・(小) 4 器、女 6 器、身障者 2 器)
内道路管理者 8 器(男(大) 2 器・(小) 2 器、女 3 器、身障者 1 器)

公衆電話 1 台 (内 1 台24時間利用可能)設置予定

【喜名番所】

営業時間9:00 ~ 18:00 休館日(月曜日、年末年始)

- ・無料休憩所
- ・自動販売機
- ・道路情報、気象情報端末機
- ・観光案内端末機(4カ国語)
- ・リーフレット配置(4カ国語)
- ・展示パネルモニター
- ・東屋 2棟

【記者発表資料参考資料】
「道の駅 喜名番所」 全景写真

